

前奏 黙想	祈 禱
讚美歌 6 われら主をたたえまし	讚美歌 118 くしき星よ、やみの夜に
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讚 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 箴言 6:22~23	黙 禱
ヨハネによる福音書 1:1~5	主の祈り 564
讚美歌 98 あめにはさかえ	頌 栄 541 父、み子、みたまの
説 教 『ことば、命、光の誕生』	祝 禱 後 奏

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった(ヨハネ 1:1)。「言葉」ではなく「言(logos)」と表記している。「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた(1:14)」。要するに「言」とは、イエス・キリストのこと。キリストなる「言の内に命があった。命は人間を照らす光であった(1:4)」。

記録映像を観ると、昔の日本人は案外早口で言葉遣いも微妙に異なる。音声が入る映像は昭和初期あたりからだろうが、人間の言葉はたやすく移り変わる。だが「言」は時が生じる以前からあり、今もあり、永遠に在る。変ることなく、過ぎ去ることなく、キリストの内の命としてここにあり続ける。

言であるキリストは「神と共にあり、神である(1:1)」。すなわちキリストが究極であり、神をキリスト以上のものと想定することはできない。人間の感覚と、理性と、経験を総動員しても、キリストの外側は無い。なぜなら初めからあり、永遠に在るから。それも遙か遠方にあるのではなく、私たち一人ひとりと共に、私たちの時において「永遠」に在る。それがクリスマス。「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた(1:14)」。そのように「インマヌエル=神は我々と共におられる(マタイ 1:23)」のだ。

時間も空間も想像力も、人間のそれには限りがあるが、クリスマスによって私たちは、初めから永遠に至る「言」と共にある。また「言の内に命がある(ヨハネ 1:4) ゆえに、私たちは永遠の命に与る。「言」は聖書に記されたキリストとして受け取りうるが、言の内にある「命」は、すでに私たち自身と不可分で、茫漠としていて掴みづらい。だから命が発する「人間を照らす光(1:4)」に注目したい。

それでは、言による「命の光」はいったいどのくらいの明るさで、私たち人間を照らすのか。「光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった(1:5)」。命からの光は、暗闇である人間にはすんなり受け入れられない。しかし神は、まばゆい太陽のような輝きによって暗闇を放逐したりしない。私たちはそれぞれ、私たちなりの暗闇を持っていて、その暗闇を壊さぬように光が輝いているからか。

幼年の頃、夕刻の空を仰ぎ「いちばんぼし、みいいつけた」とひと声歌って、いつもしばらく見上げていた。一番星は宵の明星(金星)だが、夜更けの漆黒にあるのではなく、群青色の空で一番初めに輝き出す。「闇が濃いほど光は輝く」とよく聞くが、私にとって希望や慰めの星は、群青の空の、宵の明星のイメージに近い。それにしてもなぜ、一点輝く星を見上げていると、心が鎮められるのか。

異教徒の占星術学者の先を「東方で見た星が先だって進み、ついに幼子のいる場所の上で止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた(マタイ 2:9~10)」。彼らは幼子イエスに贈り物を献げ(2:11)、自分の国へ帰った(2:12)。改宗したわけでもないし、異教徒のままイエスを拝んだ(2:11)。「言の内に命があった。命は人間を照らす光であった(ヨハネ 1:4)」。命の光は、信仰の有無や違いを超える。人間は己が暗闇を抱え、そこに輝く光に導かれて旅をし、基なる「命」を感じ、さらなる奥の「言」に出会う。

「それはあなたの歩みを導き、あなたが横たわるとき見守り、目覚めればあなたに話しかける。戒めは灯、教えは光。懲らしめや諭しは命の道(箴言 6:22~23)」。キリストの光は私たちの歩みを導く。「横たわる」とは、睡眠時であると同時に、何かの理由でキリストを見失っている時。そのような時も私たちは「見守られ」ている。目覚めて自らを開くとキリストから「話しかけられ」、命の道が通る。

月の光は立ち並んだ木々に影をつくる だが星の光はいくら輝こうと 私たちの足許を照らさない
だから己が闇の中を進む ただ暗黒ではない 東方の学者のように遠距離を往くにふさわしい星座

今日から讚美歌をうたう時は起立し(ご無理のない方は)、マスクの着脱は個人の判断とします。今年の年末大掃除と餅つきは 12/29(金) 10:00~。牧師の動き:12/14 東京管区教誨師研修会(法務省)。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。